

4つのお話

8AWK1128
永沼あやか

日本語話

- ・人真似せしようとする
- ・語り始めの「むかしむかし」はあとからつけられた
- ・主人公は圧倒的おじいさん、おばあさん
- ・死=穢れが払われる 神格化される概念
- ・死が近い=老人は神性が高い
- ・アンデルセンの童話集の出現をきっかけに民話を伝えたのも老人である
- ・だから登場人物はおじいさんおばあさん？

アンデルセン童話

- ・アンデルセンの150におよぶ童話の中には「白鳥」「火うらち箱」「大クラウスと小クラウス」「皇帝のあたらしい着物」「赤い靴」など、子供のころに聞いた民話をもとのままつかったものもある
- ・彼自身の幸福論、人間観、世界観を作品に
- ・アンデルセンの童話集の出現をきっかけに民話や伝説の再話を発展させた

ANDERSEN

1951年 広島にて株式会社「タカキのパン」創業
1967年 「アンデルセン」オープン
1981年 デンマーク王国マルグレーテII世 女王陛下、ヘンリック王妃殿下ご来訪
アメリカに「グレンドール」オープン
2002年 アンデルセングループに改名
2008年 デンマークに「アンデルセン」オープン

ANDERSEN

ベーカリーとしてのパンの最高のおいしさと、クオリティを追求している。
「the Bakery and more -
パンからはじまる、ヒュッゲな暮らし。」
ヒュッゲ=人と人とのふれあいから生まれる、温かな心地のよい雰囲気

お手本は、いつもデンマーク

アンデルセンが童話を通じて世界の人々に夢や希望を与えたように、パンのある食卓を通して豊かな暮らしを届けたい。デンマークの人々の食を楽しみ、日々の暮らしを大切に学ぶ姿勢に学び続けている。デンマークではおなじみのオーガニック素材をつかっている。

グリム童話

- ・かえるの王子さま
- ・おおかみと七匹のこやぎ
- ・ラプンツェル
- ・ヘンゼルとグレーテル
- ・シンデレラ
- ・ブレーメンの音楽隊
- ・白雪姫 などなど

グリム童話

- ・兄弟は、男5人、女1人の6人兄弟
- ・長兄 ヤーコブ・グリム
- ・次兄 ヴィルヘルム・グリム
- ・末弟 ルートヴィヒ・グリム(挿絵)
- ・初版は大人向けであった
- ・18世紀ごろまでは、大人向けの娯楽の一部
- ・算盤以神は熟語な構文や型にまつわる表現などを書き改め、口承民話から創作童話風に
- ・この世でもっとも恐ろしいのは人間(継母にいじられる、など)

インソップ童話

- ・アリとキリギリス
- ・ウサギとカメ
- ・北風と太陽
- ・金の斧
- ・すっぱいブドウ
- ・3本の棒
- ・ライオンとキツネとシカ などなど



インソップ童話

- ・アイソープス(日本では英語読みのみインソップ)
- ・紀元前619年～紀元前564年
- ・当時の記録はなく半ば伝説の人物
- ・古代ギリシャの寓話作家
- ・元奴隷であった
- ・語り継がれている童話 約400話越
- ・デルポイの市民に殺された

- ・動物物を主人公にした話が多く、話の1つ1つが厳しい社会を生き抜く教訓としてしめくられている。
- ・口伝で広まったため、題名は同じでも、違う複数の話になったものもある
- ・当時のインソップ童話は、ギリシャで生きるための知恵や、権力者を戒めるためにつくった。それが数々の作家による改編や時代の変化により、子供の童話の代名詞となった。
- ・アメリカの子供は読めなかった？

